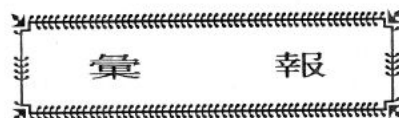


三郎山論集3（上田女子短期大学 日本語教育研究会・国語研究倶楽部共同機関誌）1996.3



■日本語教育研究会の歩み

1995.10.28 学海祭発表（国語研究倶楽部主催）後援

.12.16 日本語教育ミニ資料展～「伊沢修二の足跡」～

＊戦後50年、日本の台湾領有から100年という節目の年にあたり、地元長野県出身の伊沢修二（台湾の日本語教育の創始者）にスポットを当てた資料展を開催した。年末の慌ただしい時期ながら、熱心な見学者があり、その模様は、新聞にも紹介された。

●部員名簿

〔2年生〕大 口 真由美（会長），野 口 鏡 子（副会長），
梅 林 美 紀（書記）

■国語研究倶楽部の歩み

1995. 6.10 文庫紀行～中野方面～「北信濃小さな小さな旅」

10.28 学海祭展示発表「リングがぼける全国大調査」

日本語研究発表会

《講 演》「方言とフィールドワーク」 上智大学大学院生 吉田雅子氏

＊今年度の新企画「文庫紀行」では、図書館に勤務する先輩を訪ね、業務内容について学ぶかたわら、司書を目差すための勉強のアドバイスを受けた。学海祭の展示発表は、信濃毎日新聞(1996.10.27)・週刊上田(1996.11.25)に紹介され、注目を集めた。また、日本語研究発表会の講演に刺激を受けて、方言研究を卒業研究のテーマにする1年生が現れた。

●部員名簿

〔2年生〕重 田 あき子（部長）

〔1年生〕岩 間 美奈子，滝 澤 由 江，成 澤 久 美